

超希釈尿療法、Q and A

2015年11月に「超希釈尿療法」と命名して、この欄で初めて、自分の尿を身体からの丸ごと情報源として利用し、身体の病的部分を改善する水の作り方を、公開しました。100名ほどの方に試していただき、有効性を確認して、公開に踏み切ったのでした。その後も原因不明や原因が多すぎるため除去対応が困難、また原因が多く化学物質や他人の使う物などの場合、超希釈尿療法は、とても有効です。多くの物質に反応するような方は、一般に安全と考えられているものにも、反応することがあり、ORT（パイ・デジタルOリングテスト）で調べていないものは服用する時不安だったり、服用しなかったりすることが多いのですが、超希釈尿療法では、自分の情報だし、水なので、安心、安全です。という訳で、多くの方にご利用いただき、その中で、いろいろの質問をいただくことがありますので、ここにまとめてみようと思います。

Q1. 尿はいつ取ったらいいか？

A. 作る直前が良い。朝でも夜でも構いません。体調に変化があるときは、その時に取るのが良いのです。4時間前に取ったのを使っていいですか？という質問を受けたことがあります。これは不可です。雑菌が増えていきますし、尿が変化しています。

Q2. どのように使うか？

A. 皮膚に塗布するだけの方がいましたが、表面だけ良くしても限界があります。皮膚に現れているものは、皮下組織、毛細血管、リンパ管、筋肉組織、血液、リンパ液など内面から治っていかねばならないのです。ですから、服用が基本です。そのうえで、眼を洗う、鼻を洗う、皮膚に塗布する、うがいをする、などに使ってください。

Q3. 100ml作ってもすぐなくなるが？

A. 最初（バックナンバー・52）に作り方を詳しく書いていますが、1億倍が多くの方に最もよく効くレベルに到達するということでしたので（ORTにて検査）、1億倍にしていますが、中には、自分は、100億倍が最もよく効くという方もおられます。ですから、量が減ってきたら、水を足して、ごくわずかのアンデスの塩（耳かき半分以下）を加えて良く振ればよいのです。

Q4. 理屈がわからないからやりにくい？

A. これは、まさにホメオパシー（同種療法・原因になっている物の超微量が病気を治すという）原理を利用しています。しかし、ホメオパシー自体が医学、科学の世界では、物質的なものでは無いだけに、プラシーボ効果でしか無い、と言われていました。しかしただの水で、時間もお金もかからず、何より安全で「プラシーボ効果」があるなんて、素敵ではありませんか。医学や科学で、わかっていないことを、ご自身で確かめればよいのです。つらい症状で困っている方の、お役に立てればうれしいです。

鈴木富美